

第25回

# 水シンポジウム 2021 in ぐんま

## 第2分科会 まとめ

Gメッセ群馬・2F メインホール

オンライン

14:25 – 15:45

# 第2分科会のテーマ・目的

- テーマ

「水辺の自然、親しみと潤いのある空間、人とのつながり」

- 目的

人や地域に密接する大切な川。今後益々求められるであろう「水と地域とのつながり」について議論し、目指すべき方向性・向上策を考えます。

# 第2分科会パネリストのご紹介

- **研究者**

永野博之（群馬工業高等専門学校）

- **協議会関係者**

掛川優子（かなな川水辺の楽校運営協議会）

黒田まり子（富士山集落活性化協議会）

- **報道関係者**

小渕紀久男（上毛新聞社）

**コーディネータ**：平川隆一（前橋工科大学）

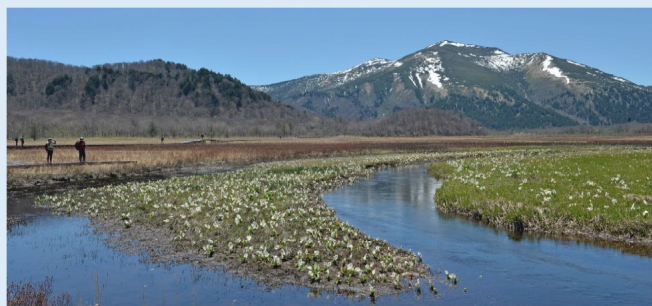
# 多彩な群馬の水辺空間

## - 歴史・文化・つながり

### 群馬県の水辺の特徴

- 内陸の海なし県
- 中央部を貫く利根川
- 山間部から関東平野が広がる平野部まで変化に富む
- 歴史や文化を育み、人々をつなぐ水辺空間

尾瀬ヶ原



本県と福島、新潟にまたがる国内最大の高層湿原  
ごみ持ち帰り運動など自然保護活動の原点



多々良沼 = 「実りの沼」

市西北部にあり、平安時代に踏鞴（たたら）  
製鉄が行われたことにちなむ

中世期に用水が開削され、米麦の二毛作が盛  
んになり、肥沃な穀倉地帯を育んだ

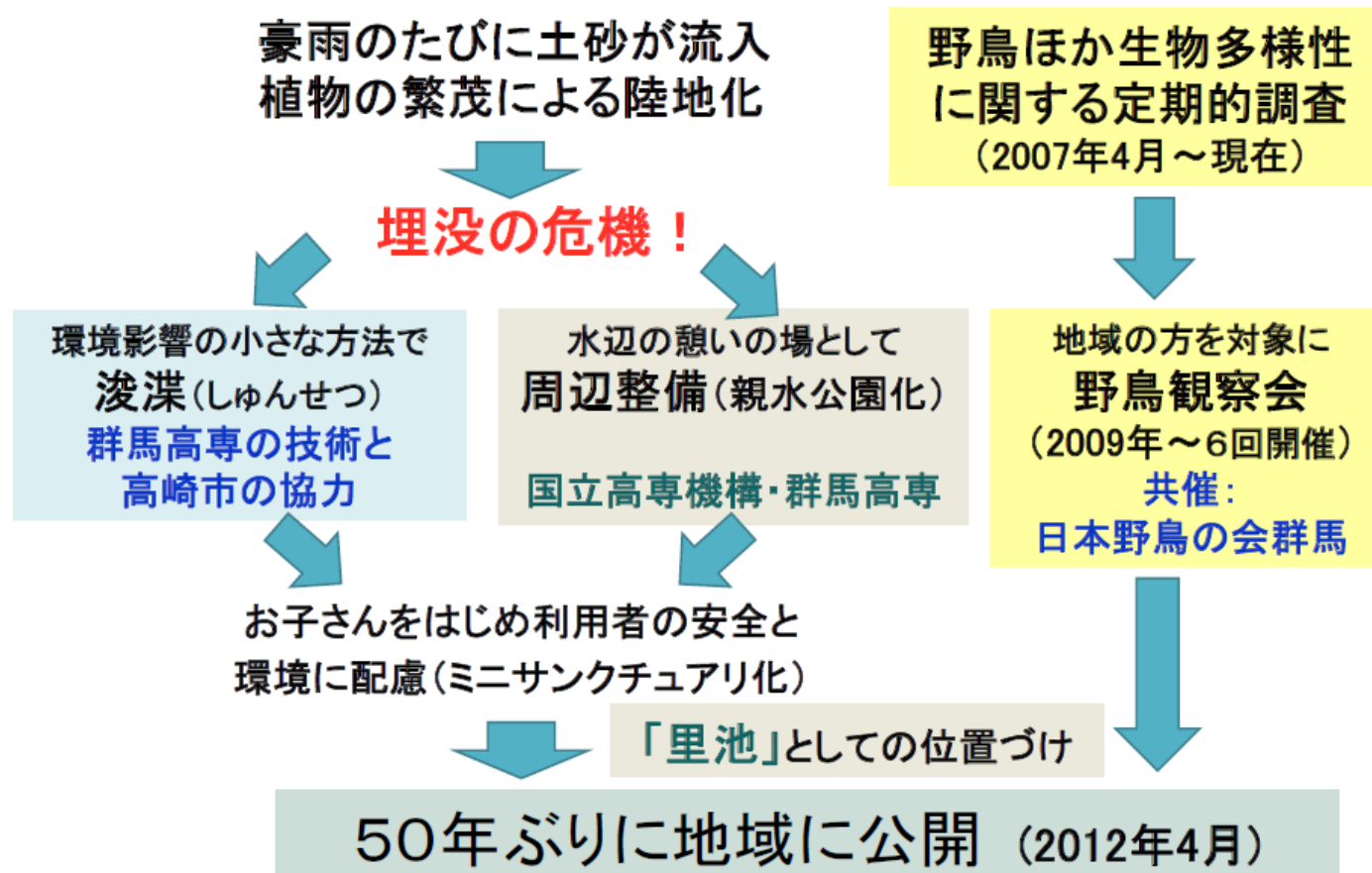


上流部のみなかみではラフティング（写  
真上）やキャニオニ  
ング（同右）を楽し  
める

# 正観寺沼

- 地域住民・学生とのつながり -

## よみがえった正観寺沼



# かな川水辺の楽校

## - 園児・児童・生徒・保護者とのつながり

**かな川水辺の楽校は、こんな**

「かな川水辺の楽校」は、地域の方  
神流川の自然にふれる事ができる場をめざ  
自然体験・環境学習の場として、神流川の  
多様な自然環境を活かせるように考

**せせらぎ水路**

かな川水辺の楽校で  
見られる生きもの

せせらぎ水路  
せせらぎ水路  
せせらぎ水路



**【川の生きもの】**  
川の生きものは、水の環境が良ければ、たくさん生きることが出来ます。かな川水辺の楽校で、生きものを観察しましょう。

**【せせらぎ水路】**  
せせらぎ水路は、水がきれいで、生きものがたくさん住んでいます。せせらぎ水路で、生きものを観察しましょう。

**【川の生きもの】**  
川の生きものは、水の環境が良ければ、たくさん生きることが出来ます。かな川水辺の楽校で、生きものを観察しましょう。

# 富士山集落活性化協議会

## - 学生・下流域住民とのつながり

四季折々の交流

水辺の楽校



東京農業大学「農村調査部」



千葉県にあるマンションの管理組合の皆さんとの交流会



BBQ交流会



東京家政大学・産業能率大学ゼミ研修



# まとめ

群馬の水辺での「水と地域とのつながり」

- 群馬には、上流から下流まで、歴史・文化・レジャーを楽しめる、いろいろな水辺がたくさんある
- その価値を利用して人がつながり、地域でリーダーが育つしかけを維持しよう、増やそう
- 子どもの頃から水辺を体験し、正しく自然を恐れて、流域全体の人々を巻き込みながら、水辺の自然、親しみと潤いのある空間を、次の世代にも引き継ごう